　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

業　 績　 調　 書

氏 名 ○ ○ ○ ○

Ⅰ　研究業績

　１．学位論文

　　　論文名　○○○○○○○○○○○○○博士又は博士（○○）（○○大学）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　取得年月日

　２．研究論文（A）（査読付論文）

　　２－１　[学術雑誌論文]

　　１）　（著者名）　（題名）　（掲載誌）　（巻）　（頁○○～○○）　（西暦）

　　　２）　（著者名）　（題名）　（掲載誌）　（巻）　（頁○○～○○）　（西暦）

　　２－２　[プロシーディングス論文]

　　１）　（著者名）　（題名）　（掲載誌）　（巻）　（頁○○～○○）　（西暦）

　　　　<候補者氏名をゴシック体とするか、アンダーラインを引くこと。>

　３．研究論文（B）（研究論文（A）以外の論文）

　　１）　（著者名）　（題名）　（掲載誌）　（巻）　（頁○○～○○）　（西暦）

　　２）　（著者名）　（題名）　（掲載誌）　（巻）　（頁○○～○○）　（西暦）

　　　　<候補者氏名をゴシック体とするか、アンダーラインを引くこと。>

　４．著書

　　１）（著者名）　（著書名）　（出版社）　（西暦）

　　２）（著者名）（担当章題目）（編者名）（著書名）（出版社、西暦）（頁○○～○○））<担当部分がはっきりしている共著の場合は、担当部分を明記すること。>

　５．国内学会や国際会議での基調講演・招待講演（最近10年間で主なもの）

　　１）　（講演者名）　（題目）　（国際会議名）（開催都市、西暦）

　　２）　（講演者名）　（題目）　（国際会議名）（開催都市、西暦）

Ⅱ　知財・成果有体物 <特許は登録済みのもの。成果有体物は供与実績のあるもの>

　１）　(発明者等)　（題目）　（特許登録番号等）　　　（西暦）

　２）　（制作者等）　（題目）　（供与先、収納先等）　（西暦）

Ⅲ　大学等における教育歴（非常勤講師等を含む）

　　（西暦）　年　　月　～（西暦）　年　　月　（大学名等）　　（担当科目）

Ⅳ　受賞歴

　　（西暦）　年　　月　（項目）

Ⅴ　社会的業績

　　（西暦）　年　　月　～（西暦）　年　　月　　（項目）

Ⅵ　その他業績

　　（西暦）　年　　月　～（西暦）　年　　月　　（項目）

Ⅶ　学会等における活動状況

　　（西暦）　年　　月　～（西暦）　年　　月　　（項目）

Ⅷ　外部資金取得状況 <代表、分担を区別すること。10年以前のものや学内資金は除外>

　　（西暦）　年～　　年（外部資金源、外部資金名）（題目）（代表者名）（総額）

Ⅸ　ResearcherID (RID)の研究者番号またはGoogle Scholar Citationsなどの論文書誌情報サイトのURL情報をお持ちの場合はご記入下さい。

（注）用紙はＡ４版とすること。

　　　また、研究論文及び著書等は年代の古い順から記載すること。

業績の書き方について

１．[翻訳・翻刻]、[辞典]等の業績について

（１）「Ⅵその他業績」に記載する。

（２）記載例は以下のとおり。

　　[翻訳・翻刻]

　　○○年○月 原著者名『訳書名』（○○書店）、○○○頁（○○○○と共訳）

○○年○月 「…」、「…」の2項目、原著者名『訳書名』（○○○○監訳、○○社）、○○‐○○頁及び○○‐○○頁

　　[辞典等]

○○年○月 「ギリシャ・ローマの体育」、「イギリスの体操」、○○編『○○事典』、○○社、○○-○○頁、○○-○○頁

２．[演奏]、[作曲]、[指揮]、[作品]、[競技]、[演技]等の実技に関する業績について

（１）「Ⅵその他業績」に記載する。

（２）国内外のいずれかに記録が残っているものに限る。

（３）記載例は以下のとおり。

　　[演奏]

　　※ 演奏した年月日、演奏会名、演奏場所（都市名、ホール名）、主な演奏曲目、共演者（オーケストラなどを含む）等の情報を記載すること。

○○年○月　○○ピアノリサイタル（東京、○○ホール）

F.ショパン《バラード第３番 変イ長調 作品47》、F.ショパン《アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ 作品22》指揮：埼玉太郎、国立埼玉管弦楽団と共演

　　　○○年○月　〇〇劇場サマーフェスティバル　室内楽の夕べ（埼玉、〇〇劇場）

C.M.v.ウェーバー《クラリネット五重奏曲 変ロ長調 作品34》、J.ブラームス《クラリネット ソナタ第１番 へ短調 作品120-1》、ピアノ：埼玉花子、埼玉弦楽四重奏団等と共演

　　[作品]

　　　○○年○月　作品タイトル：「○○○○」

展覧会の名称：「○○○○展」

展示会の形式：例、企画展審査有り、個展審査無し、コンクール審査有り、団体展審査有り等

場所：○○美術館（東京・新宿）

サイズ：W○○×D○○×H○○(mm)（絵画の場合は○○号でも可）

素材：石膏、○○ 他

　　　[競技]

　　○○年○月　○○年度全国教育系大学○○選手権大会団体優勝（主将）

３．学校教育に関する実務経験者の実務的業績について

（１）「Ⅵその他業績」に記載する。

（２）「学校課題研究（文部科学省・各教育委員会委嘱のもの、附属学校園の研究）、教科等研究団体における業績及び「指導資料・テキスト編集等の業績」については、役割担当（編集委員、編集責任者、研究委員等）の記載をすること。

（３）「研修会指導者・学校研究指導者」については、教育委員会や学校が主催する研修会等の指導者として指導講評等を行った場合に記載すること。

　（４）「研究協力者・附属機関委員等の業績」については、役割担当を明確にすること（委員長、委員等）。

（５）「研究団体等の役員の業績」については、教科等の研究団体で会長または副会長となった場

合のみ記載する。

（６）記載例は以下のとおり。

　　[学校教育に関する実務的業績]

　　　○○年○月　「小学校第５学年○○の授業公開」、○○小学校第○回小学校教育研究協議会

　　　○○年○月　「小学校体育実技指導者講習会○○系実技講師」、埼玉県教育委員会主催○○年度小学校体育実技指導者講習会（*会場名*）

　　　○○年○月　研究テーマ「子ども主体の授業づくりと教育課程編成」、○○研究会第○回全国大会（埼玉大会）教育課程分科会

　　　○○年○月　研究テーマ「心のバリアフリーを実現する交流及び共同学習」研究発表会（研究主任として研究概要を発表）［○○〜○○年度：埼玉県教育委員会及び埼玉県○○研究会委嘱］

　　　○○年○月　埼玉県教育委員会：特別支援教育指導資料『通常の学級における指導が困難な子どもへの対応ハンドブック』○○頁、作成協力委員会（委員）

-----------------------------------------------------------------------------------------

**研究論文記載例**

1. 埼玉一夫｢ヨーロッパ中世における体育理念｣『体育学研究』100巻､55-99頁､2004年1月